

健康さがみはら

発行 一般社団法人 相模原市医師会



顔まで赤いオスのシヨウジヨウ(猩々)トンボ。猩々とは、中国の伝説に登場する赤い顔・毛を持つ霊獣です。
平尾 隆

地球温暖化が急速に進んでいる印象がありますが、今年も暑い夏になりそうですね。今回のテーマは帯状疱疹の予防接種と熱中症の予防で、とてもタイムリーな内容となっております。今年度が帯状疱疹の定期接種の対象となる方は、今年度中に受けないと、その後は対象外になるため注意が必要です。熱中症に対してはしっかりと対策を取り、命を守っていきましょう。

帯状疱疹と帯状疱疹ワクチンについて

はじめに

2025年4月から帯状疱疹を予防するワクチンの定期接種が始まりました。(法律で接種することが勧められているワクチンを定期接種と呼びます。)これを機に、病気の理解を深め、ぜひワクチン接種をご検討いただきたいと思えます。

帯状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

発症年齢は、60歳代を中心に50歳代～70歳代に多く見られます(図1)。80歳までに約3人に1人が帯状疱疹を発症すると推定されています。

帯状疱疹の原因は、水ぼうそうと同じウイルスである水痘・帯状疱疹ウイルスです。ほとんどの人が子供の頃に水ぼうそうにかかっています。水ぼうそうが治った後も、このウイルスは体から完全に消えるわけではなく、神経細胞の中に潜んでいます。そして、加齢、ストレス、疲労などが引き金になって、ウイルスが再び活動を始め、神経を伝わって皮膚に到達して発症します。

症状は、①前駆症状：赤い斑点があらわれる数日～1週間ほど前から、身体の左右どちらか一方に、皮膚の違和感やピリピリ感などの神経痛がでます。②赤い斑点：神経に沿って帯状に虫さされ様の赤い斑点があらわれます。この時期に軽度の発熱やリンパ節が腫れたり、頭痛などの全身症状がみられることもあります。③水ぶくれ：赤い斑点のうえに水ぶくれがあらわれます。④ただれ・かさぶた：水ぶくれは、6～8日で破れ、その後は約2週間がかさぶたとなり、約3週間でかさぶたが取れて治ります。

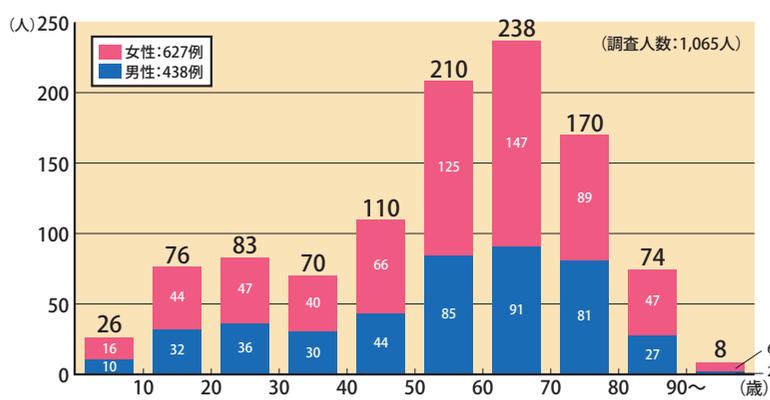


図1 帯状疱疹の年齢別患者数 (2000年4月から2001年3月までの1年間に東日本地区の総合病院と診療所の計11施設を受診した帯状疱疹患者1,065例の統計的解析を行った。)

帯状疱疹の合併症について

最も一般的な合併症は、帯状疱疹後神経痛です。皮膚の炎症が治まった後も続く痛みです。痛みは、焼けるような、刺すような、ズキズキする、または拍動するような痛みとして訴えられます。神経痛を発症するのは5～30%程度で、65歳以上では7%の方に1年後にも症状があるといわれています。

帯状疱疹ワクチンについて

帯状疱疹は、早期発見、早期治療が重要ですが、帯状疱疹とその合併症のリスクを減らす最も効果的な方法は、帯状疱疹ワクチンを接種することです。現在、2種類の帯状疱疹ワクチン(生ワクチンと組み換えワクチン)があり、どちらも予防効果が認められています。

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン	組み換えワクチン
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2ヶ月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

※病気や治療により、免疫の機能が低下した、または低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1ヶ月まで短縮できます。

◎帯状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン	組み換えワクチン
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で生ワクチンは6割程度、組み換えワクチンは9割以上と報告されています。

◎ワクチンの安全性

ワクチン接種後に以下のような副反応がみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン	組み換えワクチン
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒症※、熱感、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒症、倦怠感、その他の疼痛

※ワクチン接種した部位の症状(各社の添付文章から抜粋)

帯状疱疹ワクチンの定期接種対象者と費用

《定期接種対象者》①年度内に65歳を迎える方 ②60歳から65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方 ③65歳を超えた方は以下の経過措置が設けられます。

- ・2025～2029年度までの5年間の経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳になった方が対象
- ・100歳以上の方は2025年度に限り全員を対象とする

但し、50歳以上の方は、自費(全額自己負担)にて接種は可能です。(医療機関により費用が異なります。)

《費用》(相模原市)

生ワクチン 4,000円、組み換えワクチン10,000円(1回当たり)です。

おわりに

帯状疱疹にかかると、5～30%の方に辛い神経痛が発症します。現在は、ワクチンを接種することにより予防することが出来るようになりました。接種の対象者は年度によって異なるので(ワンチャンスです)、接種の機会を逃さないようご注意ください。

(相模原市医師会 高須 博)

